


 NPO
CCFHS

NPO法人

食科協ニュースレター 第242号

目次

【食科協の活動状況】

2023年8月～2023年9月の主な活動(先月報告以降) 2

【行政情報】

1 毒キノコによる食中毒の注意喚起について

2 令和4年度における「輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果」及び「輸入食品監視統計」の公表

NPO法人 食品保健科学情報交流協議会
前顧問 森田 邦雄

2-3

【食品安全情報】

【米国疾病予防管理センター（US CDC）】

デリミート（調理済み食肉）およびチーズに関連して複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023年3月29日付最終更新）

3-5

アイスクリームに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023年9月1日付更新情報）

5-6

【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】

リステリア症 - 2020年次疫学報告書

6-12

【カナダ公衆衛生局（PHAC: Public Health Agency of Canada）】

公衆衛生通知：フランス Bordeaux で発生中のイワシに関連している可能性があるボツリヌス症アウトブレイク（2023年9月14日付初発情報）

12-13

令和 5年 9月 29日

特定非営利活動法人 食品保健科学情報交流協議会

〒135-0004 東京都江東区森下 3-14-3、全麺連会館 2階 TEL 03-5669-8601 FAX 03-6666-9132

<http://www.ccfhs.or.jp/>

E-Mail

NPO2002-fhsinfo@ccfhs.or.jp

【食科協の活動状況】**1. 2023年8月～2023年9月の主な活動**

9月01日	かわら版408号を発行・かわら版ニュース&トピックス364号を発行
9月01日	ニュースレター241号を発行
9月05日	かわら版ニュース&トピックス365号を発行
9月08日	かわら版409号を発行・かわら版ニュース&トピックス366号を発行
9月12日	かわら版ニュース&トピックス367号を発行
9月15日	かわら版410号を発行・かわら版ニュース&トピックス368号を発行
9月19日	かわら版ニュース&トピックス369号を発行
9月22日	かわら版411号を発行・かわら版ニュース&トピックス370号を発行
9月26日	かわら版ニュース&トピックス371号を発行
9月29日	かわら版412号を発行・かわら版ニュース&トピックス372号を発行
9月29日	第四回常任理事会・運営委員会
9月29日	ニュースレター242号を発行

【行政情報】

NPO 法人 食品保健科学情報交流協議会
前顧問 森田 邦雄

1 毒キノコによる食中毒の注意喚起について

8月24日、厚生労働省は医薬・生活衛生局食品監視安全課長名をもって各都道府県等衛生主管部（局）長宛て表記通知を出した。その主な内容は次の通り。

例年、夏の終わりから秋にかけて、毒キノコを食用キノコと誤認して採取、喫食したことによる食中毒が多く発生しています。令和4年も、ツキヨタケ、ドクササコ、コレラタケ等の毒キノコの誤食による食中毒事例が報告されています。

つきましては、これから秋の行楽シーズンを迎えることを踏まえ、毒キノコによる食中毒を未然に防止するため、食用のキノコと確実に判断できないキノコ類の採取、譲渡、販売及び喫食を行わないよう、改めて消費者及び食品関係事業者に対して、より一層の注意喚起及び情報提供を行うようお願いいたします。

なお、厚生労働省では、ホームページにおいて「自然毒のリスクプロファイル」として毒キノコに関する情報を提供するとともに、毒キノコに関するリーフレット等（別添）を掲載しています。また、厚生労働省 Twitter においても秋季の間は、毒キノコの注意喚起を行っておりますので御活用ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001139097.pdf>

2 令和4年度における「輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果」及び「輸入食品監視統計」の公表

8月29日、厚生労働省は、令和4年度における輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果及び輸入食品監視統計を取りまとめ、公表した。その主な内容は次の通り。

主な内容 [] カッコ内は令和3年度の数値

令和4年度の輸入届出件数は約240万件〔約246万件〕であり、輸入届出重量は約3,192万トン〔約3,163万トン〕でした。届出に対して202,671件〔204,240件〕の検査を実施し、このうち781件（延べ825件）〔809件（延べ857件）〕を法違反として、積み戻し又は廃棄等の措置を講じました。

令和4年度のモニタリング検査については、100,021件〔99,995件〕の計画に対し、延べ100,947件（実施率：約101%）〔101,365件（実施率：約101%）〕を実施し、延べ158件〔157件〕を法違反として、回収等の措置を講じました。

違反の可能性の高い輸入食品等については、輸出国政府に対し、違反原因の究明及び再発防止対策の確立を要請するとともに、二国間協議等を通じて輸出国における衛生対策の推進を図りました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34801.html

【食品安全情報】

- 米国疾病予防管理センター（US CDC: Centers for Disease Control and Prevention）

<https://www.cdc.gov/>

デリミート（調理済み食肉）およびチーズに関連して複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023年3月29日付最終更新）
Listeria Outbreak Linked to Deli Meat and Cheese
Posted March 29, 2023

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/details.html>

（Investigation Details）

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/map.html> （Map）

米国疾病予防管理センター（US CDC）、複数州の公衆衛生・食品規制当局、米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクを調査した。

疫学調査および検査機関での検査によるデータは、デリ（調理済み食品売り場）カウンターで提供された食肉製品およびチーズが本アウトブレイクの感染源であることを示した。

患者に共通する単一のデリや原因食品は特定されなかった。

2023年3月29日時点で本アウトブレイクは終息している。

○ 疫学データ

2023年3月29日までに、*L. monocytogenes* アウトブレイク株感染患者が6州から計16人報告された（図）。患者由来検体は2021年4月17日～2022年9月29日に採取された。

図：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2023年3月29日時点の計16人)



Number of Sick People

● 1 to 2

● 3

● 7

各州・地域の公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特性、および患者が発症前1カ月間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

患者の年齢範囲は38~92歳、年齢中央値は74歳で、62%が男性であった。人種・民族に関する情報は患者15人について得られ、このうち13人が白人、1人がアフリカ系アメリカ人(黒人)、1人がアジア系であり、ヒスパニック系であると報告した患者はいなかった。患者11人は東欧系またはロシア語を話す民族であった。

診療に関する情報が得られた患者14人のうち13人が入院した。また、1人が妊娠中に感染して流産し、メリーランド州から死亡者1人が報告された。

患者への聞き取り調査が実施され、聞き取りが行われた12人のうち11人が、デリカウンターで提供された食肉またはチーズの喫食を報告した。ニューヨーク州の患者7人のうち5人は、輸入食品を販売する食料品小売チェーン NetCost Market の少なくとも1カ所の店舗で薄切りのデリミート(調理済み食肉)またはチーズを購入していた。その他の州の患者は別のデリでデリミートまたはチーズを購入していた。

本アウトブレイクには NetCost Market の店舗で買い物をしていなかった患者も含まれているため、感染源が NetCost Market のデリのみである可能性は低い。汚染された1つの食品を介して *L. monocytogenes* アウトブレイク株が複数州のデリに持ち込まれた可能性が高い。

○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用した。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS（全ゲノムシーケンシング）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。

WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来リステリア株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

2021 年に行われた調査で、ニューヨーク州およびニューヨーク市の保健当局は、NetCost Market のブルックリンの 1 店舗のデリ由来の環境検体、ブルックリンの当該デリで薄切りされた複数の開封済みモルタデッラ（ソーセージ）とハム、および NetCost Market のスタテン島の 1 店舗のデリで患者 1 人が購入したスライスサラミの各検体から、*L. monocytogenes* アウトブレイク株を検出した。

ニューヨーク州当局がこの検査結果（以下 Web ページ参照）を NetCost Market に通知した後、同社はブルックリンの当該デリを一時的に自主休業した。

<https://www.nyc.gov/assets/doh/downloads/pdf/han/alert/2021/listeriosis-cluster-brooklyn.pdf>

NetCost Market は当該デリの入念な清掃を実施し、環境検体からリステリアが検出されないことが確認された後にこのデリを再開した。

2022 年 9 月にブルックリンの当該デリで *L. monocytogenes* アウトブレイク株が検出されたが、NetCost Market のデリへの曝露歴がある直近の患者は 2021 年 10 月に発症した患者であった。入念な清掃の実施後に環境検体を再び採取し検査した結果、当該デリではリステリアは検出されなかった。

○ 公衆衛生上の措置

CDC は、リステリア症の重症化リスクが高い人に注意喚起を行い、たとえばアウトブレイクが発生していなくても、デリミートおよびデリカウンターで薄切りされたチーズは、内部温度が華氏 165 度（74℃）になるまで再加熱、または蒸気が出るまで再加熱するよう助言している。

（食品安全情報（微生物）No.24 / 2022（2022.11.22）US CDC 記事参照）

アイスクリームに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023 年 9 月 1 日付更新情報）

Listeria Outbreak Linked to Ice Cream Posted September 1, 2023

（Investigation Details のみ更新）

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/ice-cream-08-23/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/ice-cream-08-23/details.html>

（Investigation Details）

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/ice-cream-08-23/map.html> （Map）

米国疾病予防管理センター（US CDC）は、アイスクリームに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。2023 年 9 月 1 日付更新情報

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Ice Cream House 社（ニューヨーク州 Brooklyn）で製造されたアイスクリームが本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

○ 検査機関での検査および追跡調査によるデータ

ニューヨーク市保健精神衛生局（NYC DOHMH）は、Ice Cream House 社製のミニアイスクリーム製品 1 検体および同社施設で採取された環境由来の複数検体から *L. monocytogenes* アウトブレイク株を検出した。Ice Cream House 社の製品と Real Kosher Ice Cream 社のカップ入りアイスクリーム「Soft Serve On The Go」は同一施設で製造されている。

○ 公衆衛生上の措置

2023 年 8 月 30 日、Ice Cream House 社は、「Ice Cream House」のロゴ表示がある乳製品のアイスクリームおよび乳製品ではない冷凍デザート全般の回収を開始した（以下 Web ページ参照）。CDC は、回収対象のアイスクリーム製品を喫食・販売・提供しないよう注意喚起を行っている。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/ice-cream-house-voluntarily-recalling-all-dairy-ice-cream-products-and-non-dairy-parve-frozen>

（食品安全情報（微生物）No.18 / 2023（2023.08.30）、No.17 / 2023（2023.08.16）US CDC 記事参照）

● 欧州疾病予防管理センター（ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control）

<https://www.ecdc.europa.eu/>

リステリア症 — 2020 年次疫学報告書

Listeriosis - Annual Epidemiological Report for 2020

29 Mar 2023

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/listeriosis-annual-epidemiological-report-2020.pdf> （報告書 PDF）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/listeriosis-annual-epidemiological-report-2020>

欧州疾病予防管理センター（ECDC）は、「リステリア症 — 2020 年次疫学報告書」を発表した。その内容の一部を以下に紹介する。

主な内容

- 2020 年は、欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）加盟 29 カ国からリステリア症確定患者計 1,931 人が報告された。
- ドイツ、フランスおよびスペインの患者数が特に多かった。
- EU/EEA 全体での人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率（ASR）は 0.37 であった。
- 人口 10 万人あたりの報告率が最も高かった年齢層は「65 歳以上」で 1.5 であった。
- 2020 年は、EU/EEA のリステリア症確定患者数は減少し、これは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる影響を受けた可能性がある。

方法

本報告書は、2021年11月5日に欧州サーベイランスシステム（TESSy）を検索して得られた2020年のデータにもとづいている。TESSyは、感染症に関するデータの収集・分析・発信を行うためのシステムである。

本報告書の作成方法の詳細、各国のサーベイランスシステムの概要、および本報告書の作成に使用されたデータのサブセットについては、ECDCの下記の各URLから入手可能である。

<https://www.ecdc.europa.eu/en/surveillance-and-disease-data/annual-epidemiological-reports/introduction-annual>（方法の詳細はMethodsの項目参照）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/surveillance-systems-overview-2020>（2020年の各国のサーベイランスシステムの概要）

<https://atlas.ecdc.europa.eu/public/index.aspx>（使用されたデータのサブセット入手先）

リステリア症は、EU加盟国の大多数、アイスランドおよびノルウェーで報告義務疾患となっている。3カ国（ベルギー、ルクセンブルク、英国）は報告が任意である。ベルギーおよびスペインを除くすべての加盟国において、リステリア症のサーベイランスシステムは全国が対象となっている。2015年以降のベルギーの報告の人口カバー率は80%と推定されている。本報告書では、ベルギーの報告率を算出する際に、人口カバー率の経時的変動が考慮されている。スペインについては、推定カバー率に関する情報が得られなかったため、報告率は算出されなかった。2020年のスペインのデータは全ての地域からの報告ではなかったことから、患者数は完全なものではない可能性がある。

リステリア症患者の報告に使用された症例定義は、加盟29カ国のうち9カ国ではEUの2018年の定義、9カ国では2012年の定義、6カ国では2008年の定義であった。加盟4カ国ではこれらとは別の症例定義が使用され、1カ国では使用された症例定義が不明であった。加盟26カ国が受動的サーベイランスを実施し、うち22カ国では検査機関と医師・病院の双方から患者が報告された。集計データを報告したブルガリアを除く全ての加盟国が症例ベースのデータを報告した。患者数、報告率、疾患の動向および年齢別・性別分布の算出には、両形式による報告データが使用された。

ECDCは、分離株ベースのデータ収集による、EU/EEA規模のリステリア症の全ゲノムシーケンシング（WGS）強化サーベイランスを2020年も継続して行った。このサーベイランスの目的は以下の通りである。

○ 短期的目的

- ・ アウトブレイク調査の開始および食品の前向き・後ろ向き追跡調査に寄与し、食品チェーンにおいて適切な予防管理対策を実施できるようにするため、複数国にわたるリステリア症アウトブレイクや広範囲のクラスターを早期に探知すること。

○ 中期的目的

- ・ *Listeria monocytogenes* の新興・再興株の検出および拡散のモニタリング。
- ・ EU/EEA域内のリステリア症患者の原因で、持続的な汚染源に由来して存在し続けている可能性がある *L. monocytogenes* 株の特定。
- ・ 感染経路と新しい感染リスク因子の特定、および疾患の重症度の評価。

○ 長期的目的

- ・ 特定の複数の指標を利用した、EU/EEAにおけるリステリア症患者の傾向のモニタリング。

クラスター検出のため、参加加盟国からWGSのリードまたはゲノムアセンブリが提出された。塩基配列は、ソフトウェア BioNumerics version 7.6.3 (Applied Maths 社、

ベルギー-Sint-Martens-Latem) を使用して ECDC で解析された。リードの解析では、BioNumerics version 7.6.3 のデフォルト設定を使用したトリミング、SPAdes v.3.7.1 を使用した de novo アセンブリ、およびリードのアセンブリへの再マッピングやコンセンサス配列の維持 (SPAdes v3.7.1 に実装されている MismatchCorrector を使用) によるアセンブリ後の調整が行われた。Allele Calling には、BLAST パラメータのデフォルト設定が使用された。パスツール研究所の方式に従い、アセンブリにもとづく Allele Calling を使用して BioNumerics でコアゲノム多座塩基配列タイピング (cgMLST) が行われた。1,748 のコア遺伝子座のうち少なくとも 1,574 遺伝子座 (90%) が検出された場合、分離株は引き続き解析対象とされた。

複数国にわたる *L. monocytogenes* のコアクラスターの定義は、cgMLST による相互の差が 4 アレル以内 (単連結解析) の株が、少なくとも 2 カ国のそれぞれから 1 株以上報告される事例とされた。検出されたクラスターをさらに詳細に調べるため、コアゲノムの差の閾値を 7 アレルとして、疫学的に関連している可能性がある分離株の探索が行われた。

ECDC は、リステリア症クラスター検出のために加盟国から提出される WGS 解析データのほか、複数国にわたるアウトブレイクの調査で得られた塩基配列データも収集し、集約した解析を行っている。

疫学的状況

2020 年は、EU/EEA 加盟 29 カ国からリステリア症確定患者計 1,931 人が報告され、全体での人口 10 万人あたりの報告率は 0.43 であった (表 1)。ドイツ、フランスおよびスペインの患者数が特に多く (それぞれ 544 人、334 人、191 人)、これらの合計が EU/EEA の全確定患者数の 55.4% を占めた。報告率が特に高かった国はフィンランド、スロベニアおよびアイスランドであった。図 1 は、人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率の国別分布である。

表1: 国別・年別のリステリア症確定患者数および人口10万人あたりの報告率 (EU/EEA、2016~2020年)

Table 1. Distribution of confirmed listeriosis cases and rates per 100 000 population, by country and year, EU/EEA, 2016–2020

Country	2016		2017		2018		2019		2020		
	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	Number	Rate	ASR
Austria	46	0.53	32	0.36	27	0.31	38	0.43	41	0.46	0.41
Belgium	103	1.14	73	0.80	74	0.81	66	0.72	54	0.59	0.55
Bulgaria	5	0.07	13	0.18	9	0.13	13	0.19	4	0.06	0.06
Croatia	4	0.10	8	0.19	4	0.10	6	0.15	5	0.12	0.11
Cyprus	0	0.00	0	0.00	1	0.12	1	0.11	2	0.23	0.24
Czechia	47	0.45	30	0.28	31	0.29	27	0.25	16	0.15	0.13
Denmark	40	0.70	58	1.01	49	0.85	61	1.05	43	0.74	0.64
Estonia	9	0.68	4	0.30	27	2.05	21	1.59	3	0.23	0.20
Finland	67	1.22	89	1.62	80	1.45	50	0.91	94	1.70	1.40
France	375	0.56	370	0.55	336	0.50	373	0.56	334	0.50	0.44
Germany	662	0.81	721	0.87	676	0.82	571	0.69	544	0.65	0.53
Greece	20	0.19	20	0.19	19	0.18	10	0.09	20	0.19	0.16
Hungary	25	0.25	36	0.37	24	0.25	39	0.40	32	0.33	0.29
Iceland	0	0.00	6	1.77	2	0.57	4	1.12	4	1.10	1.22
Ireland	13	0.28	14	0.29	21	0.43	17	0.35	6	0.12	NR
Italy	179	0.30	164	0.27	176	0.29	202	0.33	166	0.26	0.22
Latvia	6	0.30	3	0.15	15	0.78	6	0.31	8	0.42	0.37
Liechtenstein	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
Lithuania	10	0.35	9	0.32	20	0.71	6	0.21	7	0.25	NR
Luxembourg	2	0.35	5	0.85	5	0.83	3	0.49	4	0.64	0.73
Malta	1	0.22	0	0.00	1	0.21	5	1.01	5	0.97	0.94
Netherlands	89	0.52	108	0.63	69	0.40	103	0.60	90	0.52	0.45
Norway	19	0.36	16	0.30	24	0.45	27	0.51	37	0.69	0.66
Poland	101	0.27	116	0.31	128	0.34	121	0.32	62	0.16	0.15
Portugal	31	0.30	42	0.41	64	0.62	56	0.54	47	0.46	0.37
Romania	9	0.05	10	0.05	26	0.14	17	0.09	2	0.01	0.01
Slovakia	10	0.18	12	0.22	17	0.31	18	0.33	7	0.13	0.12
Slovenia	15	0.73	13	0.63	10	0.48	20	0.96	26	1.24	1.10
Spain	362	NR	264	NR	370	NR	504	NR	191	NR	NR
Sweden	66	0.69	81	0.81	89	0.88	113	1.10	86	0.85	0.74
United Kingdom	201	0.31	160	0.24	168	0.25	154	0.23	NR	NR	NR
EU/EEA	2 519	0.47	2 497	0.47	2 579	0.47	2 652	0.46	1 931	0.43	0.37

Source: country reports
 ASR: age-standardised rate
 ND: no data reported
 NR: no rate calculated.

情報源：各国の報告書

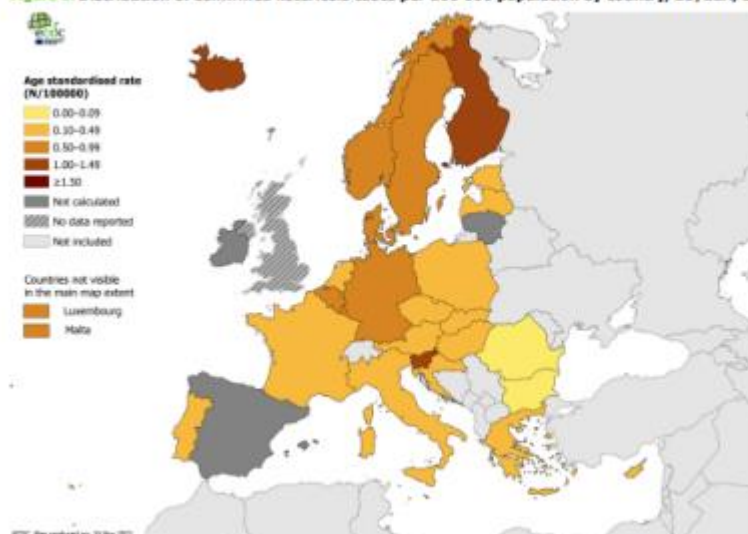
ASR：年齢標準化報告率

ND：データの報告なし

NR：報告率未計算

図1: リステリア症確定患者の人口10万人あたりの年齢標準化報告率の国別分布 (EU/EEA, 2020年)

Figure 1. Distribution of confirmed listeriosis cases per 100 000 population by country, EU/EEA, 2020



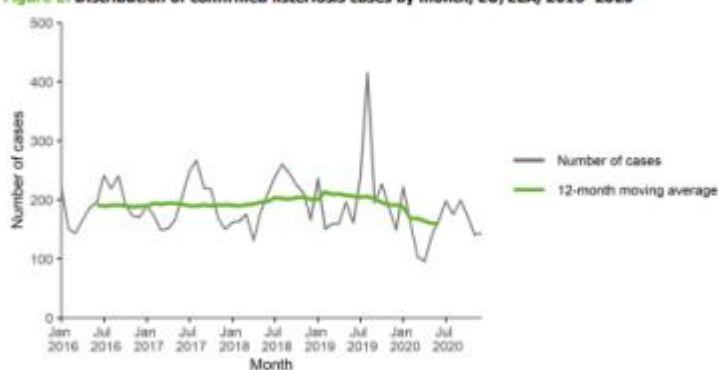
Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, and Sweden.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スウェーデンの各国の報告書)

2016～2020年にリステリア症患者数を毎年報告した各国では、2019～2020年に患者数が減少しているものの、全体的に大きな変動は見られない(図2)。一般的に、リステリア症患者数は夏季にピークを迎えた後、夏季ほど大きくはないピークが冬季に見られる傾向があるが、2020年は冬季のピークが他の年より顕著であった(図3)

図2: リステリア症確定患者数の月別分布 (EU/EEA, 2016～2020年)

Figure 2. Distribution of confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2016-2020

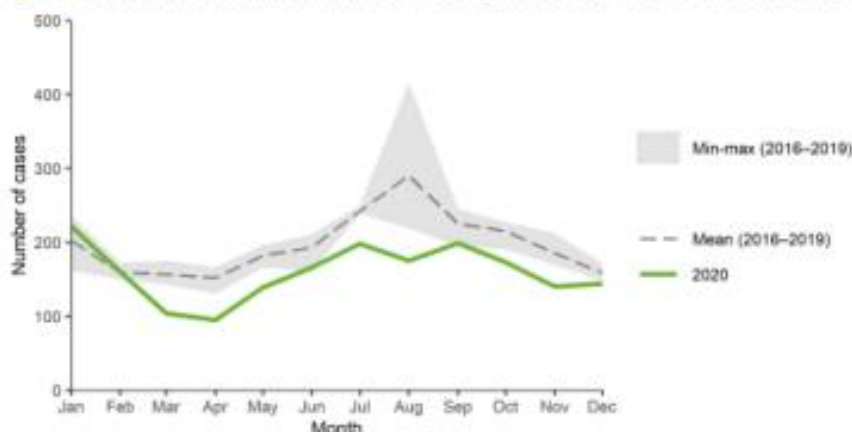


Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

(情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書)

図3：リステリア症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2016～2019年および2020年）

Figure 3. Distribution of confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2020 and 2016–2019



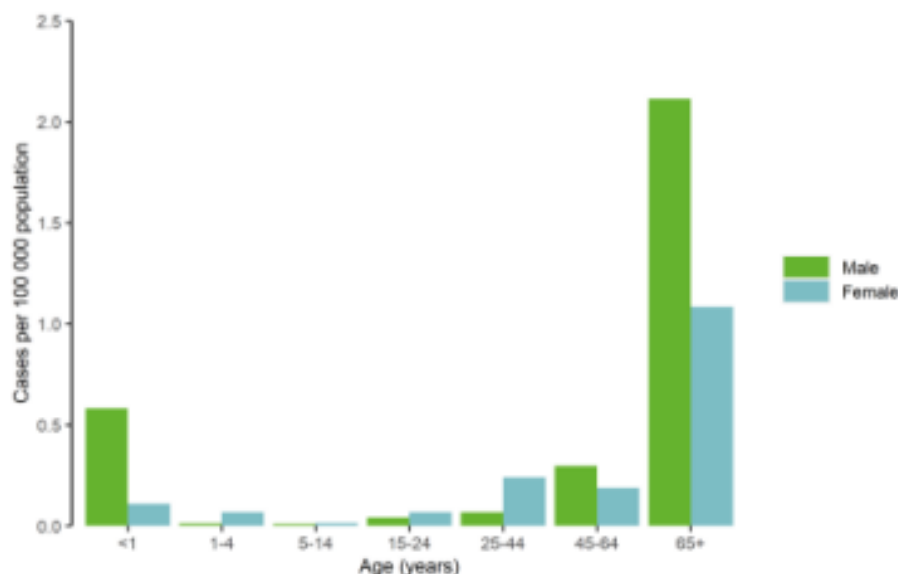
Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

（情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書）

性別の情報が得られた確定患者（n=1,931、すなわち確定患者全員）のうち、56.4%が男性、43.6%が女性で、男女比は 1.3：1 であった。患者数が最も多かった年齢層は「65 歳以上」であった（1,394 人、72.5%、人口 10 万人あたりの報告率 1.5）（図4）。2020 年は、妊娠関連のリステリア症患者が計 79 人報告された。このうち 9 人が流産または新生児死亡となった（妊娠の転帰が報告されたのは妊娠関連患者のうち 33%）。

図4：リステリア症確定患者の人口 10 万人あたりの報告率の年齢層別・性別分布（EU/EEA、2020年）

Figure 4. Distribution of confirmed listeriosis cases per 100 000 population, by age and sex, EU/EEA, 2020



全ゲノムシーケンシング (WGS) 強化サーベイランス

2020 年は、加盟 7 カ国が *L. monocytogenes* 計 471 株の WGS 解析データを TESSy に提出した。さらに、複数国にわたるアウトブレイクについて実施中の調査に役立てるため、13 カ国が計 77 株の塩基配列データを提出した。これらのデータを合わせて 2020 年より前に得られた塩基配列データと比較しながら解析したところ、2020 年には複数国にわたる計 13 クラスターが検出され、これらには 40 株が含まれた。また、86 株が 2019 年以前に検出されたクラスターの株に一致した。2020 年末までに、複数国にわたる 144 クラスターが検出された。これらに含まれる 1,318 株については、1 クラスターあたりの分離株数の中央値は 4 株（範囲：2~150 株）で、関連した国の数の中央値は 2 カ国（範囲：2~11 カ国）であった。初めて分離された日および最新の分離日に関する情報が得られた 108 クラスターについては、持続期間の中央値は 2.3 年（範囲：5 日~14.8 年）であった。

アウトブレイクおよびその他の脅威

2020 年は、ECDC の欧州疫学情報共有システム (EPIS) を介し、EU/EEA 加盟 5 カ国および非加盟 2 カ国から、リステリア症に関する緊急問い合わせ (urgent inquiry) が計 13 件発信された。このうち 7 件には、複数国にわたる事例であることを示す要素が認められなかった。残り 6 件には複数国にわたる事例であることを示す要素が認められ、このうち 5 件では可能性の高い感染源が見つかった。この 5 件のうちのドイツの 1 件では、cgMLST 法によって 2010~2020 年のリステリア症患者 15 クラスター（相互の差異が 10 アレル以下）が特定され、様々なサーモン製品との関連が示された。

公衆衛生への影響

EU/EEA 域内のリステリア症患者数は 2016~2020 年にあまり変動していないが、それ以前の年に重症化および患者数増加の傾向が見られたことが懸念され、リステリア症およびそのアウトブレイクの予防管理にさらに注力する必要がある。特に患者数の多くを占める高齢者・免疫機能が低下している人および妊婦・乳幼児などのリスク集団が、リステリア症および高リスクの食品に対する意識を高めることが重要である。また、ヒトの *L. monocytogenes* 感染が持続的に発生している状況に取り組むには、国境を越えて分野横断的に協力することが必須である。

（食品安全情報（微生物）No.17 / 2023 (2023.08.16)、No.14 / 2023 (2023.07.05)、No.11 / 2020 (2020.05.27) ECDC 記事参照）

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<https://www.phac-aspc.gc.ca/>

1. 公衆衛生通知：フランス Bordeaux で発生中のイワシに関連している可能性があるボツリヌス症アウトブレイク（2023 年 9 月 14 日付初発情報）

Public Health Notice: Outbreak of suspected botulism in Bordeaux, France linked to sardines

September 14, 2023 - Original Notice

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2023/outbreak-suspected-botulism-bordeaux-france-linked-sardines-tchin-tchin-wine-bar.html>

フランスの公衆衛生当局は、ボツリヌス症の疑い患者 10 人の調査を行っている。患者のうち 3 人はカナダの居住者である。カナダ以外の患者のうち 1 人が死亡した。

患者は発症前に全員がフランス Bordeaux にある飲食店「Tchin Tchin Wine Bar」で食事をしていました。当該飲食店は 2023 年ラグビーワールドカップのファンゾーンに近接し、観光客に人気のエリアに位置している。

当該飲食店で調理・提供されたイワシが患者の感染源として疑われている。感染源への曝露は 2023 年 9 月 4～10 日に発生した。ポツリヌス症は発症までに最長で 8 日間を要する場合があるため、フランスへの旅行中に当該飲食店で食事をしたカナダ人でさらなる患者が特定される可能性がある。フランスに旅行し 2023 年 9 月 4～10 日に「Tchin Tchin Wine Bar」で食事をした人は、症状を自己観察し、発症した場合は直ちに医療機関を受診すべきである。